

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学医学部 3号館別棟 5階
電話：03-5841-3520（内線：23520）

担当者の所属・氏名 東京大学大学院医学系研究科 生物統計学分野 山田玄

【研究責任者】

東京大学大学院医学系研究科 生物統計学分野 松山裕

【研究代表者】

東京大学大学院医学系研究科 生物統計学分野 松山裕

【研究分担者】

聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センター 木村武志

健診を受診された方を対象とした

非アルコール性脂肪性肝疾患に関する研究

1.研究の対象

2008年1月1日から2018年12月31日までに、聖路加国際病院附属クリニック予防医療センターの健診を受診された方。

2.研究の目的・方法

非アルコール性脂肪性肝疾患（non-alcoholic fatty liver disease：NAFLD）は、肝臓に脂肪が沈着する病気で、肝硬変や肝癌の原因や、心血管疾患の関連として重要です。NAFLDは肥満の方だけでなく、非肥満の方にも起こることが注目されていますが、どのような健康状態の方がこの病気を発症するかについて、詳しくは明らかになっていません。また、NAFLDの病状を評価する際に肝臓の硬さ（線維化）が重要ですが、非肥満の方の中で、どのような方で線維化が進行しやすいのかについても詳しくは明らかになっていません。そこで、本研究では非肥満者のNAFLDの発症や悪化に関連する因子を明らかにすることを目的としています。これによって、今後の効率的な健診の実施の一助になることが期待されます。

なお、この調査では診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2024年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

年齢、性別、既往歴、身体計測値、血液検査所見、腹部超音波検査所見 等

4.外部への試料・情報の提供

聖路加国際病院附属クリニック予防医療センターの健診データのうち、研究対象となるデータを聖路加国際大学学術情報センターの実務者が抽出し、USBメモリにデータを移行します。このUSBメモリを研究代表者である東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻生物統計学分野の山田玄が受け取り、直ちに東京大学大学院生物統計学分野のデータ解析室に持ち帰ります。このデータ解析室はインターネット回線から隔離された、施錠可能な専用のデータ解析室です。USBメモリはデータ移行後に物理的に破壊します。データと研究の対象の方との対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。データは研究終了後10年間DVD-Rにて保存し、その後物理的に破壊します。

5.研究組織

東京大学大学院医学系研究科 生物統計学分野 松山裕 山田玄
聖路加国際病院附属クリニック 予防医療センター 木村武志